

令和4年度 第1回理工医セミナー

「理工医セミナー」は、研究者や医師・看護師の講義、質疑応答等を通して、研究内容や職業上の特性等を学び、興味関心を高揚し将来の進路選択に役立てることを目的として実施しています。

- 1 日時 令和4年6月23日(木) 16:10～ 17:30
- 2 場所 プラタナスホール
- 3 講師 福井大学 医学部 林 寛之 教授
- 4 テーマ ・「医者として君たちに期待すること」
・ER 医の仕事「ER Doc! よろずなんでも屋？」



- 5 対象 本校 1, 2, 3年生 96名

6 内容

ER 医としてとても有名な林先生に総合診療医とは何か、ER の救命救急医としての仕事内容や病理判断の難しさ、救急医としてのやりがいなどを伺い、医者への資質、医者になってからの心構えを学ぶ。

7 参加生徒の感想

- ・去年もこの講義をお聞きしましたが、3年生になって考え方や捉え方が変わり学ぶことが増えて良かったです。先生はとてもポジティブで、人間万事塞翁が馬とおっしゃっていたのでこれからはどんな悪いことでも必ずあとに良いことが起こると信じて生活していきたいです。部活も終わってこれからは勉強に専念しないといけないので、これからはモチベーションが無いときは机の前に15分座ってみるなどしてより集中できるようにしたいです。
- ・どんな仕事をしたいかではなく、どんな自分になりたいか、自分が将来のことについて改めて考えるきっかけになりました。私はずっと救急医として働くことが夢なので、ER 医である林先生からいろいろなお話が聞けてすごくいい機会になりました。医者は絶対に患者から逃げてはいけなくて心掛け働くことはすごく大きな責任感があるし、色々な患者さんに対応できる技術も必要だと思います。でも、本来医者はそれが当たり前のことであるということを林先生のセミナーを聞いて感じました。それには勉強し続けること、学び続けること、そして何より人とのコミュニケーションが大切なのだと感じました。患者さんの生活背景、社会背景を見ることで見えてくるものもたくさんあり、それを引き出すためには患者さんにいろいろな話を引き出せるようなコミュニケーション力が必須だということもわかりました。日頃から心がけていることで、その人の雰囲気から感じられる安心感で患者さんはいろいろなことを話してくれるのではないかと、林先生を見て感じました。これから勉強はもちろん、日々学びを楽しんで、色々な人との関わりを大切にしていきたいと強く思いました。